

## 青果物



# 熊本県 JAやつしろ竜北果樹部会梨部 『吉野梨(新高)を台湾へ』

### 【主な品目】

梨

### 【主な輸出先国・地域】

台湾

### 【輸出取組の概要】

- ◆ きっかけは、国、熊本県、氷川町やJAからの輸出に取り組まないかとの提案
- ◆ 中華圏の「中秋節」(9月～10月頃)の需要に合わせ、台湾に輸出
- ◆ 台湾では、黄色く、丸く、大きいものが縁起物とされるというニーズに合致

### 【輸出実績】(平成16年度より輸出開始)

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成29年度	1,223	30	8～9月
平成28年度	655	15	
平成27年度	314	7	

### 【効果があった取組】

台湾では「くまモン」(熊本県PRマスコットキャラクター)が人気のため、イラスト入りの専用パッケージを導入

### 【取り組む際に生じた課題】

- ・ 輸出先国(台湾)事業者との信頼関係の構築。
- ・ 輸向けの特種なパレット(くん蒸・ワンウェイ)の使用、箱のデザイン費等の経費負担増。
- ・ 輸出先国に合わせた植物防疫検査への対応。

### 【生じた課題への対応】

- ・ 輸出先事業者との契約内容(数量・単価等)の調整は、輸出に詳しい信頼できる国内貿易事業者へ依頼し、商品は、等級上位の高品質な梨に限定して輸出。
- ・ 県や町、JAの補助事業を活用。
- ・ 植物防疫検査機関との緊密な連絡・連携。

### 【対応の結果】

- ・ 毎年、輸出先事業者との交流会や販促活動、現地視察を実施し、高品質な梨に限定することで、信頼関係の構築や販売の安定化に寄与。
- ・ 補助事業を活用することで、輸出用のパレットや出荷資材経費の負担軽減。

### 【今後の課題・展望】

- ・ 当面は台湾への輸出に特化していくが、部会で輸出用の梨生産を推進しロットの確保ができれば、他国への輸出を検討。
- ・ 輸出に対応した日持ちの良い品種の導入を検討。
- ・ 市場変化の見極めと、貿易関係事業者等との信頼関係の維持・向上。



現地で販売促進



関係事業者との商談

【活用した支援・施策】平成16年度 日本産ブランド輸出促進事業

【ウェブサイト】 <http://www.ja-yatsushiro.or.jp/info/index.html> (JAやつしろHP)

【連絡先】 JAやつしろ 北部総合営農センター TEL:0965-62-2826